

平成30年度 農作物（水稲）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

1. 水稲の生育および病虫害発生調査結果（第4回）

1) 水戸市の調査結果

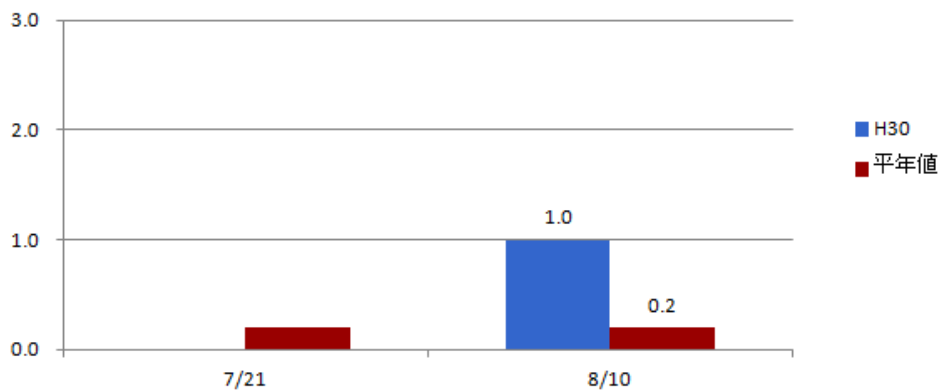
| 調査場所 | 品種 | 移植日 | 調査日 |
|------|-------|-------|-------|
| 水戸市 | コシヒカリ | 5月12日 | 8月13日 |



↑ 圃場で捕獲したホソハリカメムシ

カメムシ類

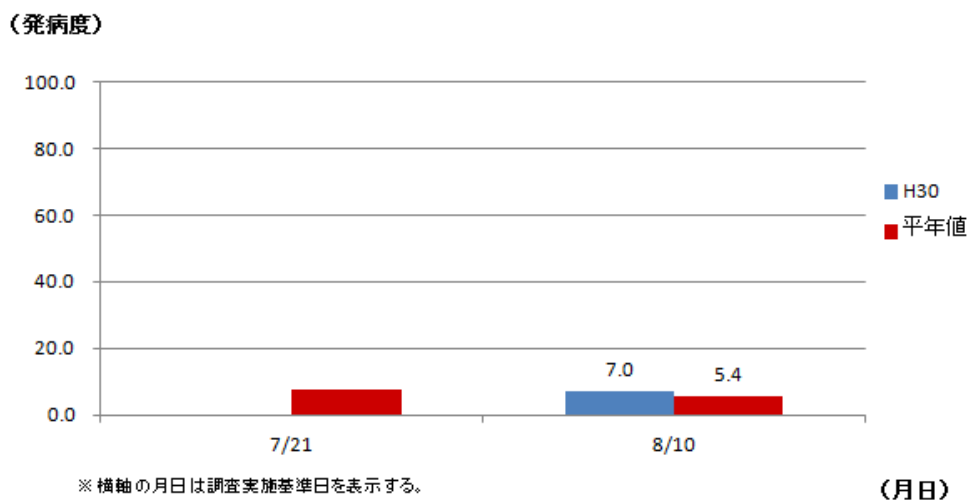
(虫数)



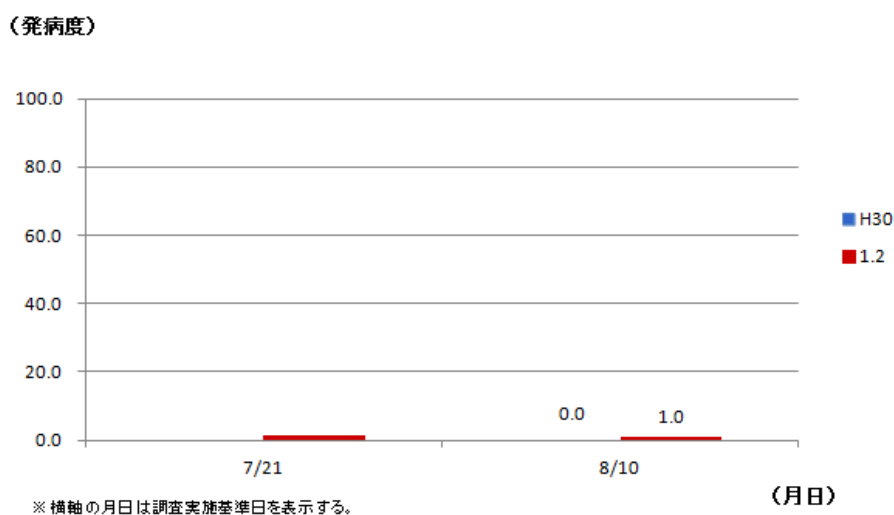
※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

(月日)

葉いもち病



紋枯病



- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 25～29 年の 5 年間の平均値

○病害虫発生調査結果について

カメムシ類の発生が少程度見られています。県内では発生が多い状況ですので注意して下さい。次年度以降の対策としては、カメムシ類の成虫を穂揃期に確認した場合は、防除を行います。また、幼虫を対象とした防除適期は、乳熟期（出穂後 10～15 日頃）です。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要となります。

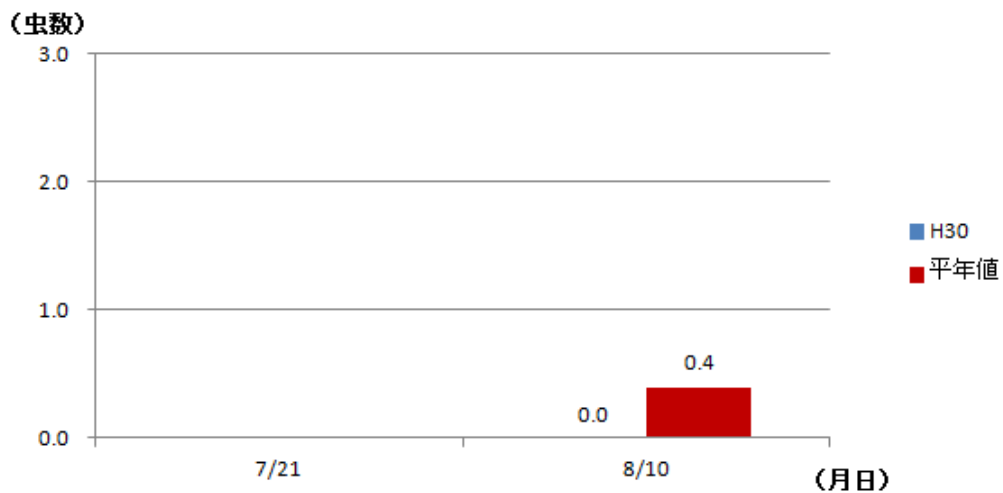
葉いもち病は、発病度少で、平年並となっています。今後の天候により、いもち病の発生が助長される可能性もあるため、圃場をよく観察して下さい。次年度以降の対策として、出穂前に葉いもち病の発生が確認できるようでしたら、穂いもちに移行しないよう予防的に防除することをお勧めします。

紋枯病の発生は見られていませんが、本年県内での発生量は多く、近年発生が増加傾向にありますので、注意してください。

2) 茨城町の調査結果

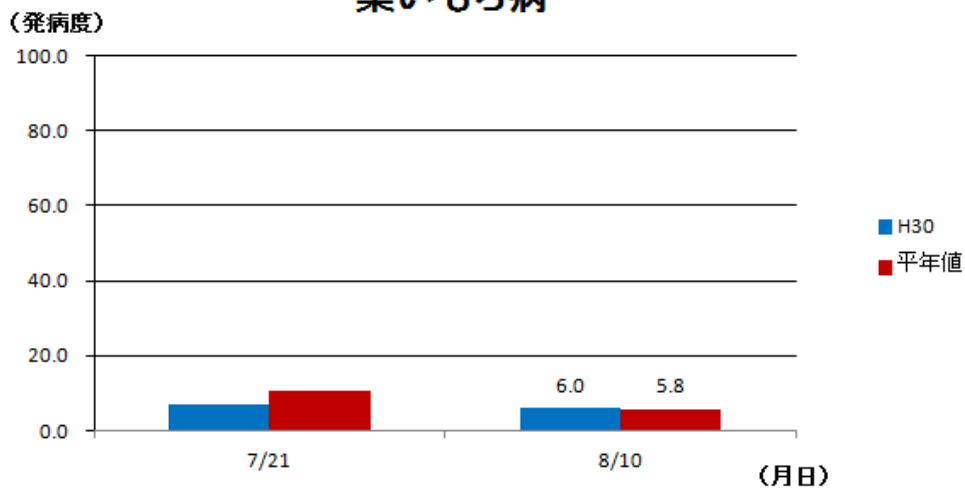
| 調査場所 | 品種 | 移植日 | 調査日 |
|------|-------|-------|-------|
| 茨城町 | コシヒカリ | 5月12日 | 8月13日 |

カメムシ類



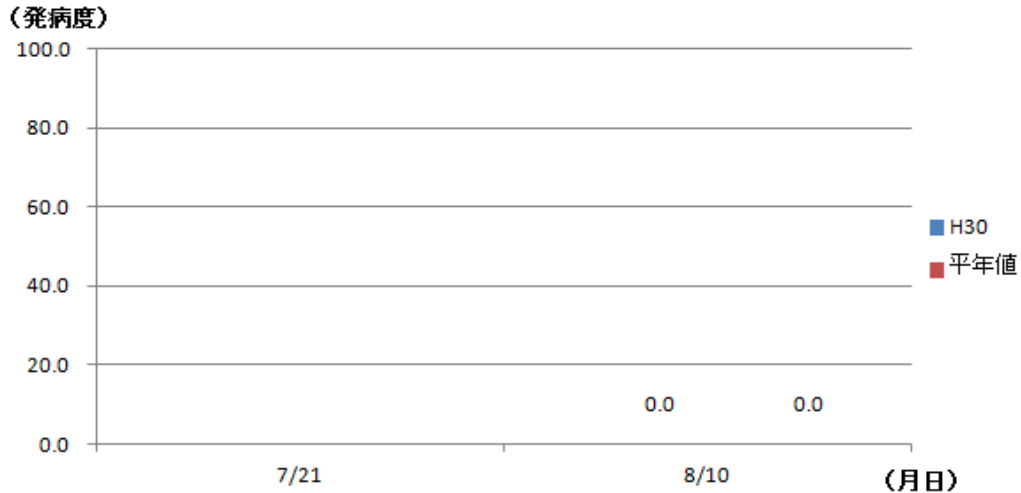
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

葉いもち病



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成24～28年の5年間の平均値

○病害虫発生調査結果について

カメムシ類の発生は見られていませんが、県内では発生が多い状況ですので注意して下さい。次年度以降の対策としては、カメムシ類の成虫を穂揃前に確認した場合は、防除を行います。また、幼虫を対象とした防除適期は、乳熟期（出穂後10～15日頃）です。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要となります。

葉いもち病は発病度少で、平年並となっています。今後の天候により、いもち病の発生が助長される可能性もあるため、圃場をよく観察して下さい。次年度以降の対策として、出穂前に葉いもち病の発生が確認できるようでしたら、穂いもちに移行しないよう予防的に防除することをお勧めします。

紋枯病の発生は見られていませんが、本年県内での発生量は多く、近年発生が増加傾向にありますので、注意してください。

2. 次回調査予定日

収穫期

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター